



柿田川

駿東郡清水町の国道一号線のすぐ横から湧き出て、住宅地に囲まれたわずから長さ1200mの別世界を作っている、それが柿田川です。それは日量100万トン以上の豊かな湧水量を誇り、透きとほったまるでガラスででも出ているかの様な美しい流れに、緑の藻を左右に揺すりながらゆったりと流れています。

フォトグラファー

大塚光一郎

1947年生まれ、静岡県出身。1968年東京写真大学短期大学部技術科卒業、永井スタジオ・静岡スタジオを経て、1978年有限会社スタジオシーガル設立。1999年公募写真展「視点」にて視点賞受賞。静岡県立美術館とコダックフォトサロンにて個展。

ecom fit 2003年カレンダー「越南悠々」のフォトを手掛け

ecom の e.galleryでも様々なフォトを紹介中

2003年5月 ecom fit ショールームにて「僧の時間」

写真展開催



●INTRODUCTION

アルミ建築時代の幕明け 石田保夫

●特集【シリーズ2】アルミ建築

エコムスホール完成。

●PRODUCTS—新商品施工例・納品実例・ecom guy最優秀賞発表

●JAPAN SHOPを終えて

●セミナー報告

3.22 光による快適空間づくりセミナー

4.26 快適な食卓その風土と演出

植村公平氏 / 栗田富美子氏

●美しく暮らすシリーズ2.

コーナーを飾る / ワークトップの活用法

●REPORTAGE—芸術家に聞く するがクリエイティブ 笠間しのぶ氏・大塚光一郎氏

●e-time—香り

●NEWS—東京出店・次号紹介

e.gallery 柿田川—大塚光一郎氏

●個展紹介—ecom fit ショールーム1・2F

ecom fit
www.ecomfit.com

個展開催

ecom fit
静岡ショールーム1・2F

稲垣有里染織展

2003年6月7日(土)～2003年6月15日(日)
出展者:稲垣有里氏

1973年 静岡市生まれ
1997年 女子美術大学芸術学部工芸科織専攻卒業
卒業制作展(麻布工芸館)
同校名誉教授 寺村祐子氏に師事(～2000.3)

1999年 国画展 初入選
静岡県工芸家協会 会友となる
2000年 国画展 入選
静岡県工芸家協会 会員となる
2002年 第28回 静岡工芸美術展 入選
個展(画廊石上/静岡市)

織物体験コーナー

思い出の布を素敵なインテリアに変える

●開催日 9日(月)・10日(火)・11日(水)・14日(土)・15日(日)

●時 間 13:00～16:00

●人 数 一回につき約4名

●持ち物 布

●費 用 2,000円(税込)(糸代と講習料)

●お申し込み方法 詳細・お申込みはショールームまで。参加状をお送りしますので当日ご持参ください。

ecom fit オリジナルアルミ額(限定品)プレゼント



体験サンプル

大井川葛布展

2003年7月5日(土)～2003年7月13日(日)
出展者:村井龍彦・良子

昭和31年 龍彦氏葛布製織の家に生まれる
昭和59年 良子氏と結婚
平成 8 年 夫婦で大井川葛布を立ち上げる
平成12年 7 月 染織雑誌に大井川葛布 4ページの記事にて掲載される
平成13年10月 「現代おり姫のころも展2001」村井良子、佳作受賞
平成15年 2 月 東京ギフトショー出展(東京ビックサイト)
平成15年 5 月 松本クラフトフェア出展



ecom fit

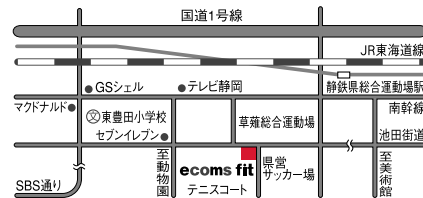
〒422-8007 静岡市聖一色654-6 営業時間/10:00AM～7:00PM

☎054-655-1851(代) ㊚054-655-1852

www.ecomfit.com

平成15年3月発行

SUS株式会社 本社 静岡市清水尾羽105-1 TEL.0543-61-0061 FAX.0543-61-0063



●ご意見募集 ecom fitでは、よりフレンドリーで充実した情報誌を目指していますので、ご意見・ご感想や内容に対するご要望等何なりとご自由にお寄せください。

この印刷物は、環境保護のため大豆油インクと再生紙を使用しています。 0305-6500(1)



future design

フューチャーデザイン

エコムスフィットのデザインコンセプトは、シンプルでミニマムなデザインを追求することです。アルミの持つメタリックな鋭さと斬新なデザイン、軽くて耐久性の高い素材が持つ清潔感は、これからの時代に合致した新しいデザインとして受け入れられていくものと考えます。

アルミ建築時代の幕明け

作業を進めていけば、組立てが完了するというような建築づくりが可能になります。

③展開性

これは少し難しい概念ですが、建物全体をシステムティックに捉えていく考え方です。アルミの押し出し形状が複雑にできる事を活用し接合部の標準化、モジュール化を図り、全体をキットのように組み上げていくものです。このシステムはまだ製品全体のラインアップが完成されていないので分かりにくいと思いますが、他の材料では考えられないアルミならではの展開です。この部材や接合部を標準化、モジュール化していく方向性は、まだ明確には描けていません。しかし、何件か実際に手掛ける中からその方向性は見えてくるものと考えています。

④供給体制

現在の状況は、材料の規格化はなされていないし、ましてやそれらを供給するシステムも確立されていません。

今なすべき事は、材料の規格化を図り実際にその材料をストックすること、またそれを供給する流れをつくり価格体系を整備することです。アルミ建築を普及させるためには、コスト面で鉄材のレベルに近づけなければなりません。目標としては同等ですが、これは一足飛びには実現できません。様々な実証の中からつかみ取るわけですが、供給ルートを最短にすること、すなわち販売経費を最小限に押さえる事が必要になります。SUSはその供給体制づくりをこれから行っていこうと考えています。

アルミ建築を本格的に普及させるためには、アルミの持つ軽さを追求し、供給ルートを最短にして鉄材のコストレベルに近づける必要があります。更にその上でアルミ押し出し材の精度の良さや部材を標準化し展開性を図り、アルミの良さを前面に打ち出していくことが求められます。アルミ自体は決して新しい素材ではありませんが、アルミ建築を展開していくことは新しい試みです。SUSはアルミの持つ良さを最大限に生かし新しい時代の新しい建築づくりに貢献したいと考えています。



SUS株式会社 代表取締役社長

石田 保夫

SUSの社内建築物 ecoms hall が5月6日に完成しました。建築基準法の省令改正により、アルミが構造材として認可を受けた日本で最初のアルミ建築物となります。

アルミの構造材のラインアップや供給体制、設計基準、施工方法等課題が多く、現段階ではアルミ建築が本格的に普及する状況にはありません。しかし、技術的な問題、供給体制や建設コスト等、色々と課題があるからといって手をこまねいてはいけないと思います。それらの課題に対し、実証を積み重ねる中から様々なヒントを得て、次なる展開策を模索していきたいと考えています。ただやみくもにアルミ建築物を実証していくだけでは意味がないかもしれませんが、机上の空論だけでも展開はできません。両者の程よいバランスの中から物事は進展していくのだと思います。今回の ecoms hall は、通常の鉄骨造をアルミ構造形態に変えたものといっってよいかもしれません。アルミ構造材だからこそできたと言える特殊な部分はありません。押し出し形状の精度の良さを除けば柱材、梁材、壁材、屋根材、床材の全てをアルミ部材で構成し、更には内部の机やイス、キッチンテーブルや洗面台に到るまで全てアルミで統一したところが特徴と言えるかもしれません。しかし、これはSUSが社内の建築物という意味あいに加えてショールームの建造物として位置付けたためにできたことで、一般的にはこういうものが完成することはないでしょう。

アルミ建築物を本格的に普及させるには、どのようにしたらよいでしょうか。メリット、デメリット詳細に上げれば数多くあると思いますが、キーとなるポイントとしては①軽さ、②精度、③展開性、④供給体制の4点に集約されると思います。

①軽さ

アルミの特長は何といってもその軽さにあります。鉄と比べ1/3の比重は大きな武器となります。その素材の軽さを最大限に生かし、更に新しい構造形式を開拓、活用する事で如何に軽く建築物を作り出せるかがポイントとなります。建物全体を軽くつくることには色々なメリットがあります。基礎工事の負担を軽減化したり、構造部材を軽くすることで施工性を容易にしたり、工期の短縮化も可能となります。しかし、何といっても一番大きなメリットは、素材の総重量を減らすことでコストを小さくすることができることです。アルミは鉄に比べ高価な材料である以上、構造上許容される限界まで建築物を軽くつくりコストを削減する必要があるわけです。

②精度

アルミの持つ優れた特長に、押し出し精度の高さがあります。

この精度の高さは鉄と比べて圧倒的に有利なポイントです。押し出し形状を複雑に、また寸法精度も緻密にでき、伸直度も高い精度で得られます。これらの高い機械精度はアルミ合金6N01から生み出されるものであり、現場での組立作業を容易にし、しかも品質精度の高い建築物をつくり出すことができます。精度を上げることで特殊な技能がなくても手順通りに

2002年5月、アルミニウム合金が国土交通省から建築構造部材としての一般認定を取得しました。これによりアルミニウム造の建築物が国土交通省の個別認定を経ずに各都道府県の確認申請により建築可能となり、ようやく法的に鉄骨造やRC造などと同じレベルでの普及の足掛かりを掴んだこととなります。

鋼材との比較ではアルミニウムの比重は約1/3、ヤング率が約1/3、線膨張係数は2倍、F値（基準強度）はほぼ1/3～2/3の範囲となります。主要な構造材料である6N01では比強度は $(2/3) \div (1/3) = 2$ となり、軽量の割に強度をもつ材料と言えます。これはアルミニウムを構造部材として考えた場合、特に変形より強度で断面が決まる1階～2階建ての建築向け部材として適性が高いと考えられています。この他の材料特性として、加工性・高耐食性・リサイクル性・高熱伝導性・高電気伝導性・非磁性体性などが挙げられます。ところでアルミニウム材料を建築部材全般即ち構造・意匠・仕上げ・下地部材全般の中で考えた場合の最大の特徴とは、加工性の良さに起因した高い押出し成形性にあると言えます。押出し成形性の良好さは、鋼材では到底不可能な複雑で高精度な部材断面を成形可能とします。このことは以下のことを実現可能とします。

- ①構造部材と仕上げ部材・下地部材の一体化→仕上げ・下地部材の簡略化または省略。
- ②仕上げ・下地部材と家具・備品類の一体化→仕上げ・下地部材の簡略化または省略。
- ③自由度の高い断面形状をもつ面材、壁材、ブレース材への展開が可能。
- ④自由度の高い閉断面形成により、断熱材、防音材、防水材等との組合せによる高機能部材形成が可能。
- ⑤リブ付き・部分肉厚プレートによる局部座屈防止、二重プレートによる幅厚比増大。
- ⑥接合用ボルト・ナット溝、タッピングホールを設置可能。

一方でアルミニウム建築部材のデメリットとしては、剛性が鋼材の1/3、熱膨張が鋼材の2倍、溶融温度が約650℃と低い、鋼材との接触による電触及びコンクリートとの接触によるアルカリ化、高コストなどが挙げ



られます。剛性と熱膨張は設計・施工上の工夫で解決可能であり、また鋼材との電触は例えば高力ボルトには垂鉛溶融メッキを施し、コンクリートとの接触部ではタール塗りなどにより絶縁することで対処が可能です。

溶融温度の低さによる防・耐火性不足、遮音性及び高コストに関しては、今後重点的に取組まれるべき課題であると言えます。しかしながら上記①～⑥のメリットとのトレードオフとしてアルミニウム造建築を総合的に評価すれば、既往の建築像を進化・発展させるに十分なる潜在力を有すると考えられます。ecom hallは、アルミニウム構造材料が一般認定を取得してからの確認申請物件第1号として、SUSが自社敷地内に社員厚生施設として建設しました。アルミニウム造平屋で延床面積214.94、主用途は社員食堂と会議室です。工期は2003年1月20日～5月8日と短工期でした。

構造形式はメインフレームを十字形柱とダブルウェブ梁の組合せによる門型フレームとし、長方形の平面形状であるため短辺方向をこの門型6m×1スパン、長辺方向を2m×14スパンとしました。使用材料は構造部材のうち十字形柱とダブルウェブ梁はA6N01、その他のアルミニウム部材はA6063とし、いずれも表面保護のため厚さ9μmのアルマイト処理を施しました。十字形柱とダブルウェブ梁の接合は柱フランジとダブルウェブを嵌合した後、溶融垂鉛メッキされた高力ボルト摩擦接合としました。なお摩擦面のすべり摩擦係数＝0.45を確保するため、柱ボルト穴周辺にブラスト処理を行いました。柱脚固定端はコンクリートへの埋込み部分にタールエポキシ塗装を行い、アルミニウム部材のアルカリ化を防止しています。

断熱は主に屋根面での外断熱とし、外壁では断熱材は用いず開閉窓の採用と箱型断面外壁材内での対流による熱交換を図りました。アルミニウム部材の加工はその殆どをSUSが自社工場にて切断・加工し、工事現場へ支給する自社供給体制としました。これにより各部材寸法の許容誤差を0.5mm以下と高精度とすることが出来、施工精度は通常の鉄骨造より高精度となる柱傾斜角＝1/2000以下（一般の鉄骨造は1/1000以下）とすることが出来ました。完成時の建て方計測結果はこの監理目標値を十分満足するものとなっていました。

このように建物設計及び施工においては「アルミニウム建築構造物製作施工要領書・同解説」に忠実に従い、建物品質の確保に努めました。ちなみに建設費用は、建材を可能な限り自社製作したこととコスト低減に努めたことなどにより、坪単価で約78万円と一般の木造平屋建物のおよそ1.5倍程度でした。

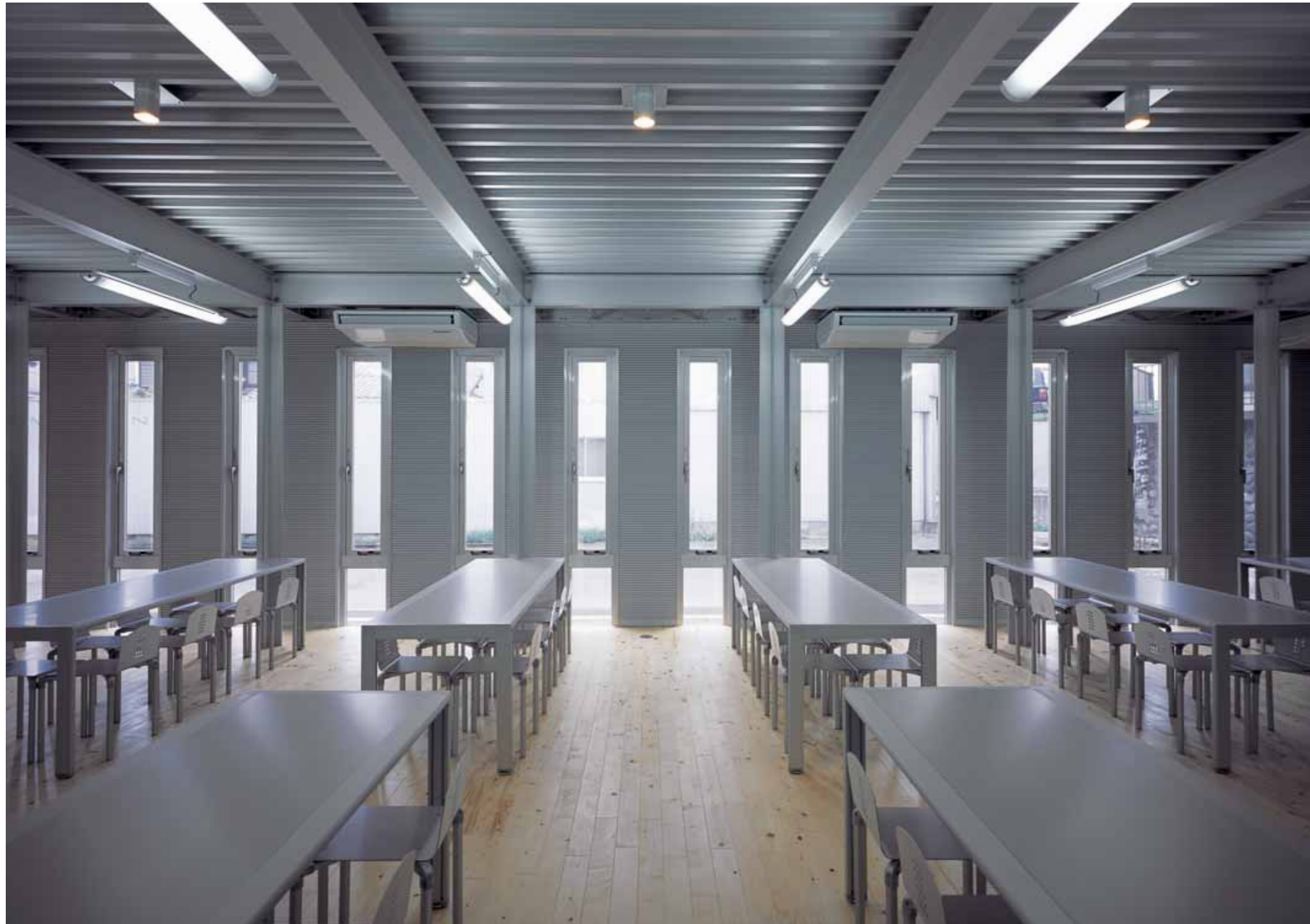
ecoms hallでは設計・意匠の基本的な考え方を「見えるアルミ造」としているため、トイレを除く各室には天井を設けず柱梁部材及び屋根デッキプレートなどのアルミニウム部材のアルマイト表面をそのまま露出しています。また外壁面は縦目地の平滑プレートと縦長の開閉窓の組合せとし、アルミニウムの質感にマッチしたスレンダーなファサードとしました。床材は玄関ホールをアルミプレート（表面ブラスト）、社員食堂は明色系パイン材の木質フローリング、会議室をダークグレー色調のフロアカーペットとし、各室の用途目的に合わせた素材フローリングとしました。

特に食堂及び会議室への入り口ドアにおいては、ドア両サイドの固定ガラスを十字柱（構造部材）に直付けする取り合いとし、前頁①に示しましたような構造部材と仕上げ・下地部材を一体化する斬新なディテールを実現しました。

主要な家具・備品類はアルミ造建物のクリアな質感にマッチするよう、ecoms fitのアルミオーダーメイド家具であるキッチン1台、ドレッサー4台、テーブル19台、ディレクタチェア25台、スタッキングチェア80台、食堂用収納棚1台を設置しました。今後ecoms hallをecoms fitのショールームとして活用を図ってゆく予定です。

アルミニウム建材は耐火性や遮音性、高コスト等の課題を持つものの、室内から構造システムを見せ軽快でモダンな空間を創出することが出来る優れた建築素材と言えます。また既に新幹線や飛行機のボディーで使われているような、面材と断熱・防音材を組合わせた高機能部材への発展性を秘めています。

ecoms hallはアルミニウム建築の普及に向けた第一歩ですが、それだけでなく今後アルミニウム建材が既往の建築像を進化・発展させる一役を担ってゆくことを期待されます。



ecoms hall

ecoms Vol.2でご紹介いたしました次期商品が、ecoms hallに設置されました。
アルミが持つ、鋭さと、温かさという2面性をみごとに
写し出している様をどうぞご覧ください。



01



02

キッチンは社員食堂に設置されています。お茶を入れたり簡単な食事を作るのに便利です。又、手洗いがキッチンの横に配置されているのも嬉しいですね。



03



こちらも社員食堂に置かれています。座り心地が良いのでゆっくりと食事ができます。



05

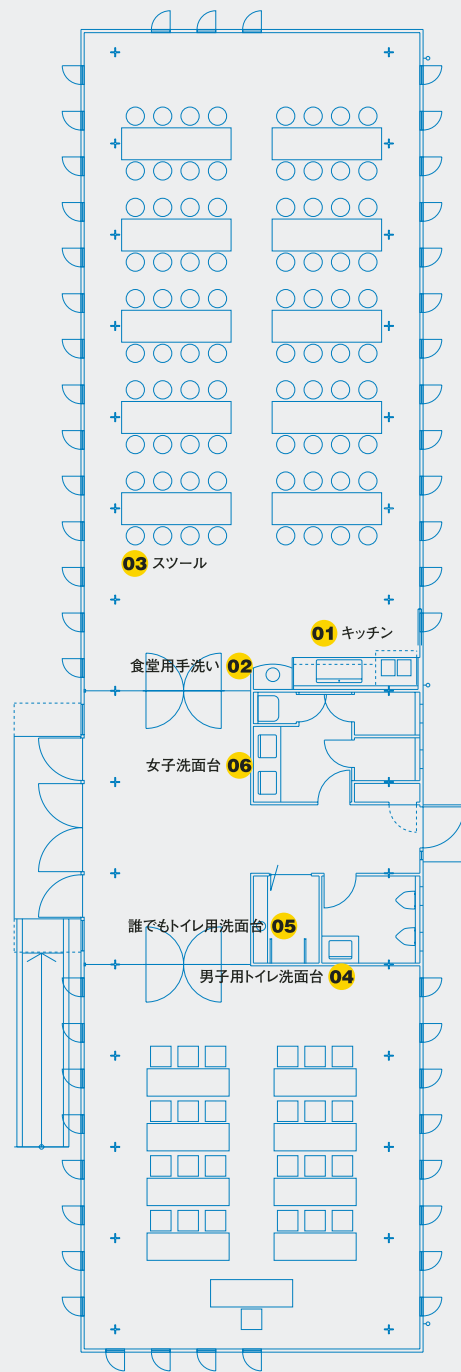


04

各トイレには、それぞれが使い易い洗面台が設置されています。ミラーも天井迄の物が用いられ、お化粧直しや、身だしなみを整えるのに役立ちます。



06



ecoms hall

所在地 静岡県静岡市清水尾羽106-1
用途地域 準工業地域
構造 アルミ造 平屋
建築面積 新築217.67㎡ 既設530.04㎡ 合計747.71㎡
建ぺい率49.58%
延床面積 新築214.94㎡ 既設530.04㎡ 合計744.98㎡
容積率49.40%
主要用途 事務所(用途の区分08470)



01 KITCHEN



02 04 DRESSER



03 STOOL



05 06 DRESSER

close up! 棚



01



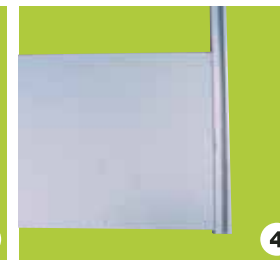
02



02



03



04



05



06



07



08



10



09

製品紹介

ショールームのシェルフ(写真①)は線(フレーム)の構造体となっており、シンプルかつシャープなイメージを作り出しています。線材タイプのシェルフは横の連結が容易にできるため、部屋の壁面を一面シェルフにすることも可能になります。棚の部分以外はすべて線ですからサイズが大きくなっても圧迫感が少なく、部屋の空間を生かしつつ収納力を高めたい方にはお薦めの商品となっています。

棚と柱の接続に関して簡単な説明をしますと、棚用ジョイント(写真②)を用いて二点を接続するのですが、ジョイント部が各々のフレーム溝・隙間(写真③)に収まるように設計されていますので、出来上がりが非常にスマートで、線構造のシェルフのもつシャープさを損なわないものとなっています。(写真④)

JAPANSHOP2003(店舗向け展示会)出展に向けて、新たに開発されたシェルフ(写真⑤)は上述のシェルフと異なり面材のみで構成されています。線のライトなイメージとは裏腹に、重厚な落ち着いたあるデザインに仕上がっています。

面材を使用してこのシェルフを開発した背景には“部品の簡素化”、“組み立て易さ”があります。このコンセプトはローコストにつながり、ユーザーにも無理なく組み立てができるようにという思いが込められています。それ故にこちらに使用されているブラインドブラケットは(写真⑥)フレーム溝に差し込み、ねじを締めるだけの簡単な接続方法となっています。(写真⑦・⑧)

進化する棚

棚というと、書棚や飾り棚などのように置き家具としてとらえられてきました。

ecoms fit の棚はオーダーメイドの利点を生かし、壁との一体化、構造材との一体化が可能となっています。建物の一部とする事により耐震対策にもなります。不要になれば資源にもなるアルミ。壁一面を覆う棚でもアルミの上品な質感と色合いが部屋全体を明るく洗練された空間に仕立て上げます。家具でもあり構造材でもあるアルミの棚は、ご家庭やオフィス、店舗などいたる所で、21世紀の空間を創り上げていくことでしょう。

⑩施工現場

【施工実例】

- ①ショールーム内シェルフ
- ⑤展示会出展時のシェルフ
- ⑨エコムスホール内シェルフ



ありきたりな物ではつまらない 自分だけのオリジナル家具が欲しい

静岡市 G様

なぜエコムスフィットで家具をお求めになること
になったのでしょうか？

SBSTVの「それいいね!」という番組を通じて
エコムスフィットをお知りになったG様は、オーダ
ーメイドと聞いてやはり「自分だけのオリジナル
家具が欲しい。」「ありきたりな物ではつまらない。」
と、感じられたのがきっかけだったそうです。

G様のこだわりとは？

パソコンテーブルとキャビネット（DVDソフト収
納用）について
部屋の隅にピッタリあうサイズに作りました。

スペースを有効利用するように、無
駄のないピッタリサイズをとことん追
求してみました。自分だけのオリジナ
ル家具の誕生です。また、「ガラスの
色がとてもよく、気に入っています。」
とおっしゃってくださいました。その天
板が浮いているように見える作りもG
様のお気に入りのひとつだそうです。

■購入品 ●ディレクターチェアー 2脚 ●パソコンテーブル
●カフェテーブル ●キャビネット (DVDソフト収納用)

またテーブルは、ご自分のお好みの高さに設定
しました。キーボードを置く引出しをつけ、ガラス
天板の下にしまえるようにしました。テーブルサ
イドに置くキャビネットにはDVDソフトを収納した
いとの事で、そのサイズにピッタリあった小型の
キャビネットを設計しました。

カフェテーブルとディレクターチェアーについて
チェアーを2脚置いてお二人でコーヒーをい
ただけるようなコンパクトサイズにいたしました。
いずれはベランダにおいて屋外カフェを楽しむ
そうです。



イメージを統一する モダンでクリアーな イメージの家をつくる

熱海市 河村様

美しい自然に囲まれた熱海市に河村様ご夫
妻が新築の家を建てました。

テーマは“透明感“。
いたるところにガラスや透明アクリル素材を使
いクリアーなイメージを演出。そのイメージにあ
わせて家具を置きたい、そんなこだわりを持った
河村様宅をご紹介します。

河村様はまず、休日は頻繁に東京へ出向き色々
な家具を見てまわられました。河村様ご自身が
思い描いているイメージを作り出すために…。そ
こでキッチンやスツール、冷蔵庫、洗面化粧台
などモダンでシンプルなものに統一しました。

他の家具も全て統一したいと思いましたが、
なかなかイメージにあう家具と出会えなかったよ
うです。そんなとき、河村様ご夫婦とエコムスフ
ィットが出会えたのです。

①オーダーメイドでお客様自身のイメージに合っ
た家具をつくる②アルミ素材が主体でモダンか
つシンプルなイメージ③1mm単位でのサイズ変



■AVキャビネット
扉はガラスを使用し透明感を出しました。上には42
型のプラズマTVをのせる為、サイズ・強度ともに考
慮した設計です。
■ローテーブル
置くスペースにあわせてサイズで変更しました。
天板はあえてグリーンガラスを使用しアクセントに。



■ネコ用トイレ
表からは見えないが扉を上げると中にはネコのトイレ
が。ネコの出入口は裏側に。上部のアクリル部
分は飾り棚として使用。

更が可能④オーダーメイドなのにリーズナブル
な価格 思わず、「こんな家具を探していたんで
すよ!!」とおっしゃってくださった河村様。我々エ
コムスフィットとしまして、オープンしたばかりに
そのようなコメント、とても心に響きました。



■ベッド クィーンセバレート
当初は一般的なクィーンベッドの予定でしたが、時には部
屋の模様変えもしたいとのことで、セバレート仕様に変更
しました。床からマットレスの高さにまでこだわり照明との
位置をあわせる、天蓋をつけてオシャレな布をかぶせました
(天蓋は取外し可能)。クリアーなイメージを出すために、
ヘッドボードは透明アクリル樹脂を使用しました。
■ベッドサイドキャビネット
天板・側板を透明にし、見せる収納家具作りをいたしました。

■購入品 ●AVキャビネット ●ローテーブル
●ベッド クィーンセバレート
●ベッドサイドキャビネット
●ネコ用トイレ

東京ショールームオープンに向けて

今年の夏、東京の新宿御苑前にエコムスフィッ
トの東京ショールームがオープンします。関東方
面への出店は以前から検討しており、それがやっ
と現実のものとなります。
これに先駆けて、今年の3月 東京ビックサイトで開
催された『JAPAN SHOP 2003』という展示会に
出展しました。

エコムスフィットの展示会出展は、昨年9月に静
岡で行なわれた『2002住まい博』以来2度目のこ
とです。今回の『JAPAN SHOP 2003』は、『2002
住まい博』に比べ規模も来場者数も桁違い、まし
てや首都圏での開催ということで、エコムスフィッ
トがいったいどんな評価を受けるのか、非常に不安
であり楽しみでもありました。

ブースの施工から設置、撤去まで

エコムスフィットのアルミフレームは多種多様な
形状で、それらの中から選りすぐり、自社製のブ
ースを組み上げました。このブースのデザイン企画・
設計・製品加工・設置、全てを我々エスユウエスの
社員で行いました。皆で力を合わせて作り上げた



JAPAN
SHOP
2003
2003.3.4(火)～7(金)
東京ビックサイト

ブースには愛着が湧きました。撤去もスタッフの手
で行いました。ふと周りを見回すとプロの方々が
作業をしていました。エコムスフィットでは施工・設置・
撤去に至るまでスタッフがー丸となってブースを作
り上げました。思いのままの空間作りをテーマにす
るエコムスフィットだからこそ、世界にひとつしか
ないオリジナルブースを完成させることができたです。

他社のブースから

展示会の最中に気になった事の1つが、他社
のアルミフレームです。組み立てや解体について
の工夫は見ればすぐにわかるのですが、価格に関
しては聞くしかありません。何社か尋ねてみたの
ですが、アルミを使っている所は海外からの輸入品
がほとんどで、どこも運送料などのコストがかかり
大変だと言っていました。
その点 エコムスフィットは日本製で、これらに対
しては大きなアドバンテージを発揮できると思いました。

アルミフレームへの注目

エコムスフィットをプロデュースしているエスユウ
エス株式会社は、工業向けの機械装置やその周
辺機器を取り扱うメーカーです。これらはFA (ファ

クトリーオートメーション)と呼ばれる分野になるの
ですが、ここで今、アルミフレームが幅広く利用さ
れています。そして、この流れを家具・建築の分野
に横展開し、もっともっとアルミの可能性を追求し
ていこうというのがエコムスという事業の基本方
針です。

機械装置関係の展示会では、アルミフレームと
いうものはそれほど特異なものではありません。で
すから、フレーム自体に大きな注目が集まるという
ことはありません。しかし、今回の『JAPAN
SHOP 2003』では、ややもすると完成品であるエ
コムスフィットの家具類以上にアルミフレームが注
目を集める存在となりました。指定寸法通りのもの
を、安くかつ早く手に入れることができるという点が、
建築・店舗設計・デザインといった業界の方に好
評だった様です。5月末にはこういった部材関係
のカatalogが完成しますので、そちらにも大いに期
待していただきたいと思います。

レンタルの要望

今回、エコムスフィットのブースに来て下さった
方から寄せられた質問で一番多かったものが、レ
ンタル (またはリース)に関するお問い合わせでした。



話を伺うと、どうやら他社のアルミ製ブースはどれも
レンタル方式の様でした。アルミフレームはリサイ
クルやリユースに適した素材で、組み立てや撤去
も比較的容易なため、今回の展示会の様なイベ
ントには非常に有効な素材です。アルミフレーム
の可能性を追求するという面で、こういった方法も
視野に入れ、多くの人に重宝されるものを提供し
たいと考えます。

将来に向けて

冒頭、今回の『JAPAN SHOP 2003』への出
展が、首都圏の皆さんにどのように受け入れられ
るかについての期待と不安について述べました。
結果的には我々の予想以上の反響があり、現在
嬉しい悲鳴を上げている所です。見積もり依頼や
問い合わせの数が、これまでと比較にならない程
増加し、全てにタイムリーな対応ができず、多くの
お客様にご迷惑をお掛けしている状況です。この
展示会での手応えが、この夏の東京ショールーム
オープン決定につながったといっても過言ではあり
ません。『JAPAN SHOP 2003』は私たちエ
コムスフィットにとって大きなエポックメイキングと
なる展示会でした。



「光による快適空間づくり」 セミナー開催



照明計画は、建築設計と同時進行で考える。

スレンダーのお手本、身長186cm・体重68kg。鋭角的な表情に顎髭をたくわえた植村さんの第一声は「快適ってなんでしょう」でした。辞書を引くと、心地よいと思える気持ち、あやふやですね。「快適性を構成する要素は3つあります」。本日の先生、学術的な講義を始めたぞ。で、3要素を簡潔化すると次のようになります。社会レベル＝文化性・デザイン性・様式・形式・流行り廃り。生理レベル＝視覚・聴覚・味覚・嗅覚・触覚の五感情報。心理レベル＝五感から脳に伝達された後、快適か不快かを判断する感情。わかります?「ポイントは、脳に伝わる情報の87%が眼からということ。視覚情報の比率が圧倒的に高い」。だから、眼が感知する情報が快適性の目安であり、しかもそれはシチュエーションによって異なる。例えば本を読む行為を例にとると――。リビングでくつろぎながら雑誌を読む～明るい光。お酒でも呑みながらミステリーを読む～周囲を暗く。哲学書を読む～集中できる光。生活のシーンによって、快適な[光]は多彩な切り口を持つわけです。ということは「建物を設計する段階から、照明計画を練らなければ、光による快適空間づくりはできません」。普通は家ができてから、あるいはリフォームを済ませてから、照明器具をチョイスしますよね。それでは遅いのだそうです。電気配線をどうするか、コンセントはどの位置に、どんな光が欲しいのか、家族の生活スタイルに合わせて欲求をきちんと整理する。「そうすれば照明計画を具現化できる」と植村さんは強調します。

個々の生活シーンに合った光の演出力を体験的に身につける。

ここで究極の鉄則。視覚情報を支える要素は《人・物・光》、どれが欠けてもモノは見えません。逆説的には、3つの条件が重なる接点に視覚が生まれるというわけ。ではちょっとリラックスしましょう。植村さんが取り出した1枚の白い紙、これに白色光を当てる。もちろん白く見えます。植村さん、ニヤリと白い歯をのぞかせ「いまは白が正解。すごくいやらしいいい方をしますでしょ。実は、色のプロが白と答えたらクビです」。次、同じ白い紙に赤っぽい光を。少し黄ばんで見えます。そうなんです、紙を壁紙に置き換えると、光の色によって見え方

が全然違ってくる。ってことは「光源の色(白色系か赤色系か)とクロスの色、両方一遍に検討しないと色ズレを起こす」、なるほど。見事な失敗例をひとつ。レストランの壁が素敵なおオレンジだった。だからオレンジ色のクロスを張った。竣工して白色系の照明を点灯したら――。「レストランの光源は蠟燭だった、というオチです」。別の実験を。強烈な光を黒い紙に当てる。「たいしたことない。ショボイというか」。白い紙に。会場からどよめき。眼を射る眩しさなのだ。「ナイス・リアクション。こういう反応がないと結構辛いですから。ワットとカルクスの数値を明るさの基準にするのは危険だよ、というお話。空間の明暗度は、光だけでなく必ず物の色を考慮してください。ね、照明って難しい。だから、私たちが食べていけるんですが」。今度はお見合いタイム?左右前後の人同士、眼を見つめ合って、ですと。男性対男性、下向いちゃいますよね。ここでは光を感じる網膜の色素の濃淡によって、光の明るさに対する感じ方が異なることを勉強しました。自分に合った光がどこにあるのかを探すには、太陽の光が基準になる。視覚から生まれる行動心理を分析すると、太陽の位置が高い→白く明るい光→活発、太陽の位置が低い→赤く弱い光→休息。つまり「活動したい雰囲気をつくるには白い光を上、くつろぎたい時は光を暗くして下。こう考えると、大きな配線の位置が決まります。上と下を意識して照明設計をしていけば、生活シーンにフィットする光の演出が可能なんですね」。

光の設計・施工のマジックを スライドで確認する。

自然界のどんな光が好きなの、どんな光で癒されるの。人間が常に認識する太陽の光をどのようにブレイクダウンして住宅に持ちこみ、自分色に染めるか。例えば、波光きらめくイメージを天井に揺らがせたり、山に沈む夕陽の印象を影をつくる

ことで演出したり。「光を上手にテーマ設定して家の中に着地させる。こういう考え方が面白いと思います」。スライドで速射砲のように映し出される光の設計・施工例。吹抜けの天井をどんどん明るくして開放感を高める発想を逆転させ、低い位置に発光物を設定することでしっとり感を。採用したインテリア・壁紙・家具・色・形・広さ、全部一緒に光の位置と色を変えるだけでまったく別の空間のよう。ハインソナ歯科医院を、テクニカルな清潔イメージから優しい印象に豹変させる配光制御テクニック。上、下、中央に照明を想定した演出効果のシミュレーション……。「清楚で気品ある美しい人の顔を懐中電灯で下から照らすと、お化けになる」と、植村さんは悪戯っぽく怖い顔をした。まだまだあります!部分的に横から光を導くことで素材のディテールを強調する。高さを活かしてトップを明るく、かつ壁面を暗くして絶妙の空間に変身する狭小トイレ。室内から漏れる光やリバウンドする光、間接照明や地明かりの活用。寝室にも凝る。快適に機能的に、そして安全にプライベートな生活シーンを彩るために、さまざまな仕掛けと数多くの照明器具を設定した実例。ここでは各器具ごとに電源の入り切りをするのではなく、シーモリーと呼ばれる装置のタッチボタンで一括コントロールする。ここまで来たか、と皆さん関心していました。「人は明るいところ、動く光に目がいく。これが向日性です。向日性を利用すると、大きなエリアで人を誘導することができる。ディズニーランドや幕張副都心がそうであるように、光に導かれ人はいつの間にか目的地に着いてしまう」。点で結んで面でライトアップ、線で引っ張り面につなげる、色を変えて意識を狙った方向へ。これはもう一種の魔法であります。「最後に面白い宿題を。踏切にある遮断機、どうして黄色と黒のテレコ柄か。阪神ファンが設計したから、じゃないです。ヒントは光と色」。皆さん、頭を捻ってみてください。



ライティングコンサルタント
植村公平氏 [うえむらこうへい]

1967年 東京都出身・在住。大阪芸術大学卒。空間デザインやライティングデザインを中心に、住・商業施設を問わず設計・コンサルティングを行う。小泉産業株照明分社営業本部営業企画部勤務。全国のショールーム企画や販促イベント営業企画の傍ら、照明設計の講演活動年間100回。



快適な食卓 その風土と演出 セミナー開催



小さな食卓は大宇宙である、ということ。

今回のセミナー、開演前から参加者の動きが慌ただしい。というのも、今回は会場前方に栗田さんが演出したテーブルコーディネートの実例があるからです。アルミ素材で作られたecoms-fitのテーブルに、初夏の食卓をイメージしたコーディネート。100×180の存在感あるテーブルに、爽やかなブルーと白の食器や花が見事に映える。「イタリア人が折り紙をイメージしてデザインした器を使い、パンを入れた紙やナブキンも、折り紙風にセッティングしてみました。メニューは、かつおや夏野菜といったイメージでしょうか」。栗田さんの言葉に、その素材までもが頭の中に浮かんでくるよう。そんなイマジネーションを駆り立てるのも、テーブルコーディネートの魔力。前方のテーブルを囲んでいた人だかりが落ち着いたところで、本日のセミナー、スタートです。まずは、食卓に欠かせない器の話から。器には、炆器、陶器、磁器の3種類があり、それぞれの素材、特徴、焼成温度、代表的な産地などを簡単にレクチャー。「特に、磁器は中国から日本に伝わり、その東洋の文化がヨーロッパに伝わりました。食器のブランド名に『Royal』が多いのは、当時の王侯貴族たちが競って自分の窯を持ち、美しい器製作に力を注いだから。その名残りなんです」。なるほど。そして、次は食卓に欠かせないもう一つの主役、食の話に。アメリカが発祥のファーストフード、イタリアから提唱されたスローフード、中国から伝わった医食同源。栗田さんが、テーブルコーディネートのノウハウに入る前に、こんな話をしたのは、理由がありました。「快適な食卓とは、ゆっくりとした食事で、心もリフレッシュできること。テーブルコーディネートは、そのための演出ですから、食や器の文化的背景を知らなくては、ね。並べるだけじゃありません。ハードもソフトも大切。小さな食卓も大宇宙である、ということなんです」。

自分自身の風土を見つけ、演出に活かす。

さて、いよいよテーブルコーディネートのノウハウに入ります。ポイントは5つ。1.食卓のスタイルーカジュアル? エレガント? それともフォーマル? その時の季節やテーブルの質感、メニューにピッタリくるスタイルを演出しましょう。2.季節感ー風物詩、花、行事などを取り入れて。四季はもちろん、12ヶ月、24節気までを表現できるようにできれば上

級者ですね。それから、大事なことは、季節の先取り。戻るのは野暮ですよ。つぼみの季節に満開の桜の着物を着たら、粋でしょ? 3.カラーコーディネートースタイルや季節に合った色合わせ。テーブルを前にした時、「あっ」と思わせるドキドキ感。器や花はもちろん、上級者はナブキンの色やたたみ方で表現します。お口を拭くだけ、なんて思わないで。ナブキンは色あわせのポイントです。4.器の取り合わせー西洋の食器は丸が基本。同じデザインで揃えることがハイグレードとされ、左右対称、足し算の考え方でコーディネートされます。和食器は、いろんな素材・色・形がありますから、組み合わせで食卓の表情を出しましょう。非対称、引き算の考え方でできるだけシンプルに。5.風土ーこれが一番大事です。土地にあった素材や、その使い方。自分の風土、自分らしい演出というものは必ずあります。食卓に風土を盛る。きれいだけではつまらない。風土や郷土を感じる食卓は、人の心に響く食卓になります。ちなみに、栗田さんご自身の風土は『お茶』だそうです。このあたりは、実践的なポイントだけに、すばやい手つきでメモを取る参加者の皆さん。「日本人には、左右非対称にモノを並べて、それを美しいと感じる審美眼があります。3歳くらいまでを日本で過ごした人なら、誰でも持っているそうです」。自分のセンスに今ひとつ自信がない、そんな人の背中を押してくれるかのような一言。「私が主催している教室では、西洋のセッティングの勉強から入りますが、和洋折衷のジャパネスクというテーマに入った途端、メキメキと腕を上げる生徒さんがいるんですよ。日本人独自の審美眼。まだ眠らせたままの人も多いのでは?

食卓は、限らない表現の可能性を持つ舞台。

「口で説明するだけでは分かりづらいですよ」と、栗田さんがコーディネートした事例を紹介するス

ライドショーが始まった。ティーパーティーのセッティング、ブライダルプロデュース、セミナー&パーティーの企画。数多くの事例の中でも、さすが『お茶』をご自身の風土に掲げる栗田さん、日本茶パーティや日本茶講習会など、お茶に関するコーディネートが目を惹きました。テーブルの雰囲気は洋風なのに、さりげなくお漬物が置いてあったり、色鮮やかなデミタスカップを茶器に使ってたり。意外?と思われる独創的なアイデアが、参加者の心を掴むコツのようです。そんな栗田さんの腕を見込んで、次々と舞い込むあらゆるオーダー。個人宅で日本茶の講習会を開いてほしい。クリスマスにお茶漬会のセッティングを。いやいやお正月用のお茶漬会コーディネートも。「個人宅で開催した時には、お庭にあった草花をふんだんに使って食卓を飾りました。クリスマスのお茶会には、赤いバラの器を使い、お正月用には七草をトッピングにしたお茶漬会を」。難題と思われるテーマも楽しみながら表現していく、そんな印象すら感じさせる軽快な語り口で、スライドショーは続きます。「食卓は、飾ったら完成ではありません。そこに人がたくさん集まるわけですから、引き算でシンプルにしておくことが大切です」。最後に、栗田さんが教えてくれた、すぐにも実践できそうなコーディネートのポイントを、いくつか抜粋しましょう。「花を飾る時に大きさを迷う場合は、テーブルの9分の1を目安に。幅の3分の1、奥行き3分の1、ひじまでの高さが一般的と言われています」。「これからの季節は涼しさを感じさせるコーディネートがいいですね。合わせている途中で難しくなってしまった時は、白を入れましょう。困った時のお助けカラーです」。「ランチョンマットやナブキンを上手に使うだけで、随分雰囲気華やきます。特に、日本人は手先が器用ですから、ナブキンのたたみ方も工夫して」。



食環境プロデューサー
栗田富美子氏 [くりたふみこ]

TV、各メディアを通じて、コマーシャル、イベント空間、テーブルコーディネートを手掛け、近年ではオリジナルなパーティープロデュースも。栗田富美子テーブルサロン、(南)栗田屋本店を拠点に、その他各地にてテーブルコーディネートセミナー、ブライダルセミナーを開催。また、(南)栗田屋本店に日本茶茶房を増設、平成13年には日本茶インストラクターを取得し、お茶セミナー等文化サロンを開業。



セミナーに参加された方々のご意見

March

「光による快適空間づくり」セミナー

- Kさんご夫妻:ご主人 35歳・会社員、奥様 32歳・主婦 静岡市在住
- Iさん:34歳・会社員・静岡市在住

印象に残ったことは？

Kさん:将来家を持ちたいので、全部勉強になりました。照明は最後って考えていたのが、最初からなんだと。

Iさん:例えば気に入った間取り、好きな家具、飽きがこない壁紙、といったことが大切だと思っていました。逆に照明計画と建築設計を最初からコラボレートすれば、もっともっと理想に近づける。本当に新鮮でした。

Kさん:感性で、なんていわれても困ります。植松さんの講演は、光とか色とか、学問的な説明と映像による実例紹介で、とても理解しやすかったです。

照明に対する理想やこだわりは？

Iさん:私はキッチンに興味があって。食べ物が美味しく見える照明とか、キッチンでの孤独な作業を癒す光とか、そのへんのお話が聞けなかったのがちょっと残念。

ecoms fitの商品をどう思われますか。

Kさん:カラーバリエーションで選べばいいのになあ。いまのものは冷たい感じ。年齢を重ねた時に、暮らしに合うかも気になりますね。



Iさん:アルミの家具ってクールで先進的なイメージ。家にある家具の間に入るとミスマッチかも。でもクールな印象を照明で和らげることで、違ったものになるかもしれません。またアルミには軽いという利点があって、移動とかレイアウト替えには融通がききそう。結構アクティブなのかなあ。

April

「快適な食卓 その風土と演出」セミナー

- Kさん:50歳(主婦) 静岡市在住
- Sさん:30代(会社員) 静岡市在住

印象に残ったことは？

Kさん:自分の風土という言葉聞いて、私の場合は何だろうって、考えてしまいました。10年間の海外生活から戻ったばかりなので、足し算の文化もよく分かります。



Sさん:食文化の話が面白かった。スローフードって、言葉は聞いたことがあったけど、その内容や背景はよく知らなかったもので、勉強になりました。

今後の食卓は変わりそうですか？

Kさん:う〜ん。限られた食器でコーディネートするのは難しいですね。もともと

ロイヤルコペンハーゲンが好きだったのですが、最近信楽焼に出会って、土ものの温かみにも目覚めたので、うまくプラスしていきたいです。

Sさん:これまでテーブルコーディネートってほとんどしたことがありませんでしたが、器一つだけでもちょっとした工夫で楽しくなることが分かりました。一人の食卓でもリッチな気分になれそうです。

ecoms-fitの商品はどうですか？

Kさん:これまで自分がなじんだ木の文



化とは対照的ですね。大きなテーブルでも組立が簡単なら、普段はしまっておいて人を招待した時にだけ出してくる、といった使い方もできそう。テーブルクロスを上手に使える、表情や季節感も出せそうです。

Sさん:ショールームに行ったことがありますが、本当に全部アルミでびっくり! 材料の質が高くて、いろんな形がつけると聞きました。廃材が出ないこと、アレルギー対策になることは、これから広がっていくポイントかもしれませんね。



植村公平氏から見たecoms-fit

アルミというハードルが高い素材を市場価格に則した設定で提供する、その斬りこみ方が面白い。普通でしたらプロユーザー(建築家やインテリアコーディネーター)を介させた、いわゆる流通商品にしないと難しいのに、あえて流通商品ではないと明言し勝負している。課題は、建築家にどういうメリットを持たせるか、アルミを求めるオーナーをいかに掘り起こすか。やっぱり市場性を探る上で、ショールーム展開は欠かせませんね。金属は硬いもの、普遍的なものといった印象。木は傷や凹みにファ

ジーさ・柔らかさを感じるイメージ。つまり人とともに経年し朽ちていく味わいみたいなものが、アルミには希薄だと。朽ち果てていく様が難しい。市場がそれをどういうふう認識するのかな。アルミ素材自体を嫌だ、という方は少ないと思います。北欧系インテリアが普及する中で、ちょっとトリッキーな存在。だから、1Rマンション、社員寮、若手を育てる第3セクターオフィスのシステム家具など、素材とかインテリアという範疇だけでなく、事業的に広がっていく可能性もありますね。

栗田富美子氏から見たecoms-fit

今回、このテーブルをコーディネートするにあたって、第一印象は「扱いやすいだろうな」と。中間色のグレーは、何色とも合わせやすいし、アルミは、ガラス、磁器、陶器、紙、布、花など、全てを活かしてくれる異素材。私は、イタリアで行われた結婚式で着物を着たことがありますが、石の文化が形づくったグレーの街に、本当によく着物が映えるんです。イタリアの色やデザインが先進的なこととも無関係ではないように思えました。グレーは、周りを活かす魔法の色なんです。個性的なようで、無機

質でもある。無国籍のようで、多国籍でもある。それがecoms-fitの魅力ではないでしょうか。

今回は、初夏の涼しげなイメージでコーディネートしましたが、モダンなスタイルもカジュアルなイメージも、いろんなコーディネートが楽しめそう。冬にはビビッドな赤も似合いそうだし、お正月のセッティングも面白いかもしれません。黒い折敷に輪島塗の漆器などを合わせて、着物で集まったりしたら、とっても映えるでしょうね。

■その他、ご意見・ご希望欄に記入されていた内容の抜粋

March

20代女性…照明の話詳しく聞くことが出来てとても面白く勉強できました。光の事は自分で勉強したくてもわかりにくところが多かったのですが、なるほどと思いながら聞く事が出来ました。

30代男性…素材が冷たい感じがする。曲線やカラーの使用や部分的に別素材の利用など考えると広がりがあるのではないかと。

April

50代女性…素敵なセミナーをありがとうございました。住人になって一ヶ月の私ですが静岡の文化と風土を楽しみたいと思いました。

70代女性…初めてのセミナー参加でしたが、とても素晴らしいお話とスライドの数々に魅せられました。スローフードつまりスローライフな暮らしを大切にしていきたいと思います。ありがとうございました。

■貴重な意見ありがとうございました。皆様のご希望が叶えられるように製品作りに励んでまいりたいとエコムスフィットは考えております。これからも宜しくお願い申し上げます。

ecoms ranking

■ecoms fitの商品で気に入ったものは…



No.1 キッチン(21人)

堂々の第1位はキッチンでした。シンプルな中に自由設計を取り入れた女性に嬉しい人気商品です。



No.2 キャビネット(12人)

リビングに、ベットのサイドにと大活躍のキャビネット。第2位にランクインです。



No.3 パーテーション(9人)

なんと、パーテーションが第3位に入りました。パンチングメタルを使用した作りは、オフィスにもお部屋の間仕切りにも使え以外に役立つ商品なのですね。

No.4 ブックシェルフ(8人)

No.5 チェア(7人) クローゼット(7人)でした

コーナーを飾る 静岡市佐々木邸

部屋の隅にあるコーナー、気になりませんか?びったり埋める何かがあったらいいのに…と思っている方はいらっしゃいませんか?アルミフレームとパネルを組み合わせて簡単なラックを作ってみましょう。本を立てかけたり、季節の花を飾ったり、淋しかったコーナーが、明るく美しく変身します。



1. まずはお掃除です。

コーナーラックを設置する前に床のほこりや汚れはきれいに取り除いておきましょう。



2. ぴったりと納まります。

エコスフィットのコーナーラックは1mm単位でフレームの長さやパネルの大きさが選べるからどんなコーナーにもぴたりと納まります。



3. さあ飾りましょう。

お部屋に合わせてデコレーションを考えましょう。また、季節に合わせてインテリアを楽しむのも美しく暮らす為のヒントになるはずです。

POINT

置く物によって棚の位置を変えたり、棚の数を増やすこともできすし、高さなどサイズの変更も可能です。製作時間は約1時間。材料費は1万円程度でした。皆さんもぜひ挑戦してみてください。

ワークトップの活用法 ecoms fitショールーム

普段料理をしていて、ワークトップが狭いと感じませんか?作りかけの材料や盛付のお皿、調味料など広げてしまっ、材料を切るスペースがなくなってしまうなんてことがあると思います。そんな時ちょっと片付けられる棚があれば…そんな願い叶えます。



1. これがキッチンラックです。

水切りを良くする為に棚板にはパンチングが施工されています。



3. スペースを作りましょう。

切る、混ぜる等のスペースは確保できていますか?このラックさえあれば、盛り付け皿まで棚の上にセットできる為、大きなスペースが作れます。

POINT

サイドラックが付いているので菜箸やフライ返しなどを掛けることができます。

2. 準備をしましょう。

調味料や、調理道具は一旦棚の上に並べます。これは料理するのに必要な材料の確認です。



4. 最後は盛り付けです。

ラック手前にお皿を並べて一気に盛り付けていきます。



フレーム、ナット、パネル…部品の確認から始めましょう。↓



フレームとフレームを組み合わせていきます。↓



六角レンチが1本あれば作れるので誰でも楽しく作業ができます。↓



簡単な組立説明書も用意しております。組立に戸惑った時は参考にしてください。↓



パネルを乗せて完成です。コーナーにぴたりと納まっていますね。



部品は全部揃っていますか? ↓



コーナー同様フレーム同士を組み立てます。↓



こちらも六角レンチ1本の簡単な作業です。↓



ボルトを利用したフックをサイドに取り付けて枠が出来上がりました。↓



パネルを乗せて完成です。(所要時間30分)

するがクリエイティブ

静岡伝統工芸展(四月開催)

Q.するがクリエイティブとは?

静岡市には様々な伝統工芸が産業として存在します。これら伝統産業の後継者の交流組織が「するがクリエイティブ」です。

Q.結成

「するがクリエイティブ」が結成されて約10年が経ちます。それまでは代々受け継がれてきた伝統工芸を、各職人の方がそれぞれ展開していましたが、するがクリエイティブ結成をきっかけにそれぞれが協力しあう体制ができました。また、静岡市の地域産業課からも若手の後継者をバックアップする目的として援助をしていただいています。

Q.メンバーは?

するがクリエイティブは現在約25名(男性19名・女性6名)で活動しています。今年も4~5名の新しい方が組織に参加されます。参加される方の基準は、伝統産業に携わっている方・するがクリエイティブの色を壊さない方を中心に構成されています。

Q.伝統工芸品について

伝統工芸品の歴史は100年程前にさかのぼります。漆器・蒔絵・木工指物・竹細工・塗下駄・挽物・染色などの様々な伝統工芸は、“産業”という位置付けでした。作品の中には、お雛様に施す蒔絵ですとか、挽物ではイスの脚ですとか実生活にはあまり密着していないものもあります。するがクリエイティブのメンバーは“職人さん”として、家業を受け継いでいる方と、自ら弟子入りして技術を学んでいる方がいます。するがクリエイティブを発足したことにより、色々な業種の人同士が刺激しあい、今までと違う「自分の作りたいもの」「生活に役立つもの」いわゆる“生活提案型”の作品を作り出すようになってきました。

Q.活動内容は?

するがクリエイティブでは月に1度会合を開いています。以前はデザイナーの方も交えて、市場にあった作品作りも行っていましたが、経験を積み昨年から独り立ちできるまでになりました。今年の4月より、市からの援助ではなく自分たちの力で組織を運営する“独立民営型”を本格的に進めていく予定です。援助がない分、売れる作品を作るにはどうすればよいかを考えてゆきたいと思います。今回のような個展開催を活用し、お客様の声を生で聞き取り、どういった商品が必要としているのかを見極め、次の製作のヒントとしてゆきたいと思います。

Q.ショールームでの出展に関して

アルミ素材の無機質な感じと、作品の持つ有機質な感じとが織り成すコントラストが、とてもよかったです。お互いに足りない部分を補えたのだと思います。木のテーブルに作品を展示すると、少しくどくなってしまったり、テーブルの存在感がなくなってしまう部分もあるのですが、アルミのテーブルですと作品の違った面を発見する事が出来、よい展示会になったと思います。出展前は不安でしたが、大成功だったと思います。

今回は代表として笠間しのぶさんにお聞きしました。

2003年4月4日(金)~4月13日(日) ecoms fit にて個展開催

カメラとの出会いから今日まで

高校1年の時、初めて両親にカメラを買ってもらったのがきっかけですね。すぐにカメラの魅力にはまり、様々なものを撮るようになりました。当時写真部に所属していたので部員同士で評価し合ったり、今思うとその頃が生涯で一番熱中して写真を撮っていたような気がしますね。少し余裕が出てきて自分の写真が撮れるようになったのはここ7~8年ですね。旅が好きなので、色々な国を旅しながらその国の風土や文化を肌で体験し作品を撮っています。前回 베트남、今回はミャンマーで撮影しましたが、チベットや南アメリカなどまだまだ行ってみたい国は沢山ありますね。また、海外へ行く際には必ずボラロイドを持つようにしています。なぜかという、人物を撮る際に、最初にボラロイドで1枚写真を撮りプレゼントします。そして打ち解けてきたら作品用の写真を撮る。そうする事により緊張が溶けよりナチュラルな表情を撮影する事ができます。また、「ありがとう」という感謝の気持ちと一緒に伝える事が出来るのでとても活躍しています。

旅と写真について

今回は、ミャンマーのマンダレーという町にあるマハガンダーン僧院という、こちらで言えばお坊さんの学校のような所で撮影しました。

仏教に関してですが、ミャンマーはインドに近く、ダイレクトに仏教が入ってきたということもあり、僧侶達がとても純粋に修行に励んでいる風景が見受けられました。

日本では大乗仏教が主ですが、ミャンマーでは小乗仏教といって大乗仏教より戒律が厳しく、227という膨大な数の戒律を守らなければなりません。この戒律の中には、“女性と同席してはいけない”・“食事は午前中のみ”・“妻帯をしてはいけない”等の厳しい教えがあります。僧侶達はその厳しい教えを守り、熱心に勉強をしていました。その姿勢には感動を覚えさせられます。

写真もちろん好きですが、それと同じくらい、もしかするとそれ以上に旅が好きなのかもしれません。是非若い方には外にでて、“これだけ違う世界があるんだ”と感じて、自分の大切な財産にしてもらいたいと思います。旅をする事により、違った角度から日本を見ることが出来るはずですよ。

ecoms製品&今回の個展に関して

あまり金属の家具になじみがなく、アルミの家具と聞いても想像がつかなかったのですが、実際に撮影等で製品を見てみると、シンプルでとても素敵だなと感じました。ハウススタジオでカタログ写真を撮りましたが、スタジオにecoms製品がびたりとはまっていた絵になるなと感じました。

今回ショールームで個展を開催する事になり、作品を展示してみると、ショールームの白い壁にモノクロの写真達がすんなり溶け込んでいるのに驚きました。



1947年生まれ、静岡県出身。1968年東京写真大学短期大学部技術科卒業、永井スタジオ・静岡スタジオを経て、1978年有限会社スタジオシーガル設立。1999年公募写真展「視点」にて視点賞受賞。静岡県立美術館とコダックフォトサロンにて個展。ecoms fit 2003年カレンダー「越南悠々」のフォトを手掛けecoms の e.galleryでも様々なフォトを紹介中

2003年5月11日(日)~5月18日(日) ecoms fit にて個展開催

大塚光一郎氏

写真展出展者(五月開催)



FULL LINE UP!



- 1.フォトフレーム(700円) 2.フラワーベース多種挿し(2,500円)
3.フラワーベース—輪挿し(1,500円) 4.メモベン立て(800円) 5.なんでも立て(900円)
6.スタンド(7,000円) 7.傘立て(6,000円) 8.小物入れ(8,000円) 9.ペンスタンド(400円)
10.水平ハンガー(7,000円) 11.ミニプランター(2,000円) 12.TV台(15,000円)
13.ロングスタンド(8,000円) 14.コートハンガー(6,500円) 15.卓上ミラー固定式(4,000円)
16.卓上ミラー可変式(6,000円) 17.フラワースタンド(9,000円)
18.BOOKスタンドL-25(1,400円) 19.BOOKスタンドS-20(750円)
20.BOOKスタンドS-15(700円) 21.BOOKスタンドS-10(650円)

※BOOKスタンドは自由にスライド調整ができます。
※価格には消費税は含まれておりません。

ecoms guy
最優秀賞発表

第1回小物グッズアイデア募集
(2003年1月～4月)

第1回最優秀賞 マガジンラック
静岡市長沼 田中様の作品
商品券10,000円分プレゼントさせていただきました。
おめでとうございます。
※今回の応募総数は約80件ありました。

第2回小物グッズアイデア募集のお知らせ

期間 2003年5月～8月
商品 最優秀賞 商品券10,000円分プレゼント
発表 ecoms fit 9月セミナーにて発表
ecoms Vol.5 に掲載させて頂きます。
たくさんの方々のご応募を心よりお待ちしております。

■応募先
店頭へ直接、又はおハガキ・FAXでも受け付けます。

e-time ecoms fit おすすめハーブ
herb

JUNE

ジャーマンカモマイル

しとしとと雨が続く6月はゆっくりお家の中で過ごす時が多いのでは…。そんな午後のteatimeにはカモマイルteaをおすすめします。リラックス効果が高いカモマイルは、胃にも優しく眠れない夜にも最適です。

JULY

ペパーミント

梅雨明け、汗ばむ季節がやってきました。7月のおすすめはペパーミント。お風呂に精油1～2滴。スッキリとリフレッシュできます。もちろんハーブティーもGOODです。アイ스티ーにしてお出しすれば急なお客様にも喜ばれます。

news

ecoms fit 東京ショールーム 2003.夏 OPEN

1F ecoms fit ショールーム / 2F エスユウエス株式会社 東京営業所



東京都新宿区新宿1-5-1 TEL (03) 5368-0315 FAX (03) 5368-0316
営団地下鉄丸ノ内線「新宿御苑前」駅徒歩1分
営団地下鉄丸ノ内線「新宿三丁目」駅徒歩4分
都営新宿線「新宿三丁目」駅徒歩4分

ecoms 4

7月発行号のお知らせ
2003.7.28日発行予定

●INTRODUCTION

アルミ建築セミナーを終えて 石田保夫

●特集【シリーズ3】

SUSアルミ建築セミナー in Tokyo
「アルミ建築の魅力と可能性について」

●セミナー報告

5.31 エコムスホールの紹介

根村 修氏・飯嶋俊比古氏 / 氷見義治氏

●PRODUCTS—ecoms guyの新製品

●クローズアップ—テーブル

●美しく暮らすシリーズ3.

●REPORTAGE—芸術家に聞く 稲垣有里氏・村井龍彦氏/良子氏

e.gallery 大塚光一郎氏

●個展紹介—ecoms fitショールーム1・2F

予告内容は変更する場合があります。